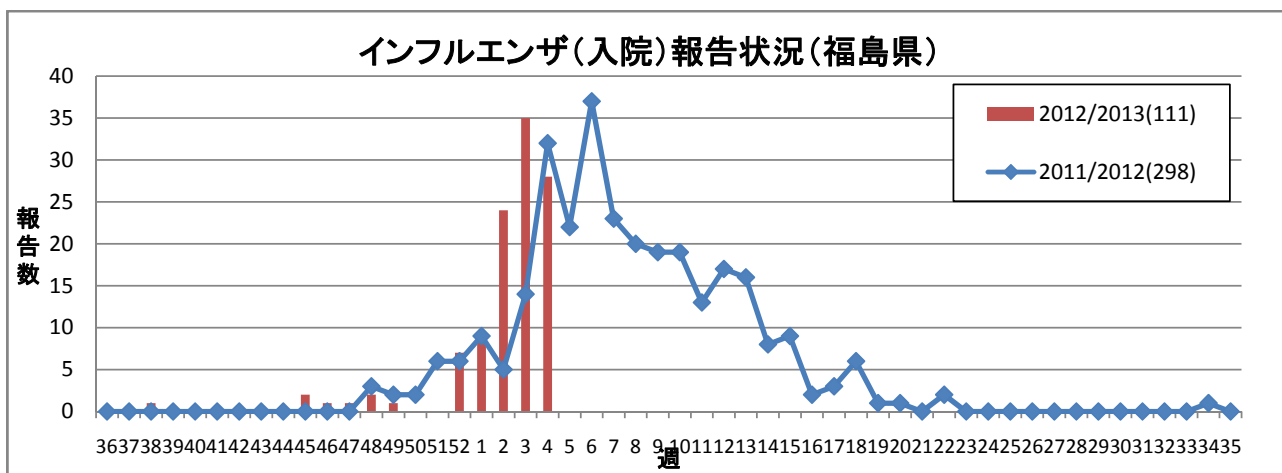


インフルエンザ（入院）の発生動向

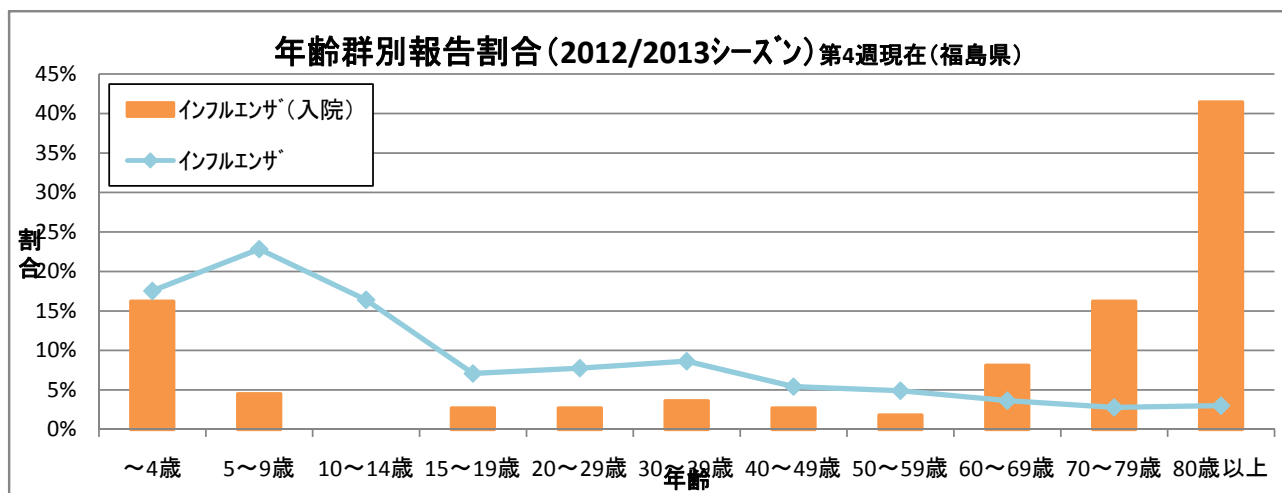
2013年第4週現在

インフルエンザ（入院）は、通常のインフルエンザの報告とは別に、全国約500の基幹定点医療機関（2次医療圏ごとに300人以上収容する病院を設定：福島県では7病院）から報告されています。

平成23年9月5日より調査が開始されたもので、インフルエンザと診断された患者のうち、入院した患者について報告されています。



年齢群別の報告割合では、通常のインフルエンザが小児・学童が中心なのに対し、インフルエンザ（入院）では0～4歳の乳幼児と、70歳以上の高齢者の割合が高くなっています。



その他、インフルエンザに関する情報については、こちらをご覧ください（厚生労働省のページが開きます）。
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infulenza/index.html